

府省名	経済産業省	部署名	商務・サービスグループ クールジャパン 政策課・官民一体型需要喚起推進室
取組のポイント			
働き方改革のテーマ(オフィス改革、勉強会開催等)を10個設定し、それぞれのテーマにつき少人数のチームを編成して、自ら主体となって改革を推進。特にオフィス改革については棚10本分の文書を整理し、新たな会議スペースを創出。 また、縦割りに細分化されていた課内の体制を有機的な少数のチームに再編成し、課員を複数のチームに所属させ離脱・参入を随時可能とする「アメーバ・チーム組成」の導入により、有機的な政策形成と職員の業務平準化を実現。			
取組概要			
【取組の背景】			
個別の事業の班分けとなっており、課室員が、すべての政策形成に有機的に参画できる仕組みではなかった。また、国会对応等の多大な業務も発生しており、生産性向上や課室員のチアアップ等は喫緊の課題であった。 オフィス環境も、大量のモノが文書棚近くの床に散乱するなど、効率的・創造的な業務遂行が困難であった。また、会議卓にパーテーションが設置され、閉鎖的である等、オフィス環境改善は急務であった。			
【取組の内容】			
設定された10のテーマについて、それぞれのチームが課室全体を主導しつつ推進している。 特にオフィス改革のテーマにおいて、課室の中央で移動の障害となっていた文書棚を、課室員総出で整理することで、撤去に成功した。また、既存の会議卓もパーテーションを撤去し開かれたスペースとすることで、常に多くの人が参加できる会議室となり、有機的な政策形成が可能となっている。 また、事業毎の班分けという縦割り体制の問題について、課室員全員で話し合い、総意として改革案を提案し、見直しを実現した。約30人の人員に対し、10以上もあった班を、3班に統廃合した。どの課室員も複数の班に所属することとし、必然的に有機的な政策形成を行える仕組みとしている。			
【取組の成果】			
段ボール約110箱分の文書を整理、文書棚10本分を空にし、新たな会議卓を設置。慢性的な会議室不足を解消した。 縦割りであった体制は、有機的な少数のチームに変化。割り揉めは発生せず、業務の平準化を実現している。			
			
【開かれた会議スペース】		【棚撤去の様様】	
講評			
大規模なオフィス改革を中心とした、働き方改革の土台作りの職場環境整備の取組として評価。班体制の再構築、全員が複数の班に所属する形式の導入は、個々人の「やりがい」、「能力開発」を伸ばす仕組みとして興味深いほか、業務効率化にも資すると思われる。			